

第3回サイエンスカフェ in 上北沢



スギ花粉症 治療の最前線

日時： 2010年3月7日（日）15:00～17:00

場所： 東京都臨床医学総合研究所 2階講堂

話題提供： 廣井隆親 さん

東京都臨床医学総合研究所 花粉症プロジェクト プロジェクト・リーダー

ゲスト： 飯島英樹 さん

大阪大学大学院 医学系研究科 消化器内科学 医学部講師

腸の免疫システムと病気 ～食物アレルギー、炎症性腸疾患について～

ピアノ演奏： 正井久雄 さん

東京都臨床医学総合研究所 ゲノム動態プロジェクト プロジェクトリーダー

対象： どなたでも（中学生以上）

定員： 30名程度

参加費： 無料

Le café scientifique de Kamikitazawa
café scientifique Kamikitazawa

申込方法： 参加ご希望の方は、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号、メールアドレスを明記のうえ往復ハガキまたは電子メールで下記へお申し込みください。

申込先： 東京都臨床医学総合研究所 サイエンスカフェ in 上北沢 事務局

〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6

E-mail: sciencecafe@igakuken.or.jp

申込〆切： 2010年2月25日（木）

※締切翌日に往復はがき、または電子メールで参加の可否をお知らせします。
連休明けまでに連絡がない場合は、問い合わせ先までお問い合わせください。

問い合わせ先： 03(5316)3109（米澤） または 03(5316)3221（関根）

なお、お申し込みにあたり記載していただいた個人情報については、財団法人東京都医学研究機構 個人情報保護に関する規程に基づき適正に管理し、サイエンスカフェの運営以外の目的に使用いたしません。

主
催

催：(財)東京都医学研究機構 東京都臨床医学総合研究所 <http://www.rinshoken.or.jp/>

催： 日本学術会議

「第3回サイエンスカフェ in 上北沢」でお話したいこと

話題提供者：廣井隆親

毎年3月になりますと春の訪れとともに花粉症の季節がやってきます。日本で花粉症が発見されてから既に40年余りが経ちました。



現在、東京都民の4人に1人がスギ花粉症に罹患しており年々増加の一途をたどっています。またひと昔前までは、「小児に花粉症はみられない」と言われていましたが、今では子どもの花粉症は、珍しくありません。1、2歳の幼児でも目をかゆがったり、鼻水が出て鼻をかゆがる症状がみられます。3歳の花粉症患者も当たり前になり、学童期以降になるとぐっと患者数が増える傾向にあります。今では、花粉症は、「国民病」といわれるまでに患者数が増加しています。これにともない、医薬品・医療用関連として毎年約2,300億円が支出されていると推定されおり、健康保険医療を圧迫している一つの原因となっています。



サイエンスカフェでは、このように医学的・社会的に影響が大きい花粉症について現状の医療法ならびに近い将来の診断・治療法の可能性を含めてご紹介いたします。



**講演会とは違った
気楽な雰囲気の中で
身近なサイエンスを
語り合いましょう！**



京王線「上北沢駅」(各駅停車)より徒歩10分
「八幡山駅」徒歩15分

(財)東京都医学研究機構
東京都臨床医学総合研究所
〒156-8506 東京都世田谷区上北沢2-1-6